

Cisco Smart Software Manager サテライト (Enhanced Edition)

最終更新日:2018 年 10 月



概要

[Cisco® Smart Software Manager サテライト](#)は、Cisco Smart Licensing のコンポーネントです。[Cisco Smart Software Manager](#) と連携してお客様の製品ライセンスをインテリジェントに管理し、お客様が購入および消費するシスコのライセンスについてほぼリアルタイムの可視性とレポートを提供します。

お客様は、さまざまなユーザ認証と暗号化パスワードによって保護された非常に安全なインターネット接続を使用して、クラウドベースの Cisco Smart Software Manager ポータルからお客様のインストール ベースを表示できます。しかし、セキュリティ上の理由によりインストール ベースをインターネットに直接接続して管理したくないお客様のために、Cisco Smart Licensing のコンポーネントとしてお客様のオンプレミス環境にインストールすることができる Smart Software Manager サテライトを提供しています。デバイスやソフトウェア製品は、Cisco Smart Software Manager の複製である Smart Software Manager サテライトに自己登録を行い、ライセンス使用をレポートします。

Smart Software Manager サテライトには、次の 2 つの導入モデルがあります。

Smart Software Manager サテライト Classic:

- 小規模企業が対象
- CSSM(シングル テナント)で 1 つのスマート アカウントをサポート
- 製品インスタンスを 10,000 まで拡張可能
- シスコへのオンラインまたはオフラインの接続

Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition:

- 拡張性と使いやすさが向上した新しいアーキテクチャとインフラストラクチャ
- 顧客アカウントを管理する必要があるサービス プロバイダー/パートナーが対象
- 複数のアカウント(マルチテナント)をサポート
- 製品インスタンスを 10,000 まで拡張可能
- シスコへのオンラインまたはオフラインの接続
- 下位方向にサテライトを登録し、階層型のサテライト構造を形成することが可能(将来)

Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition は、Cisco SSM と共通のインターフェイスや同等の機能を備えることで、操作性が同じになるように設計されています。これは、自分のアカウントを管理する個々のお客様の代わりに、単一の管理ポータルを使用して複数の顧客アカウントを管理する必要があるサービス プロバイダーとシスコのパートナーを対象としています。

サテライトが動作するには、Cisco Smart Software Manager と定期的に通信する必要があります。お客様は、最近の購入がローカル コピーに反映されるように、ローカル データベースをシスコ ポータルと同期する必要があります。これは、自動的に、または手動で行うことができます。自動同期のスケジュールは、日次、週次、月次、または頻度設定によって指定することができるため、サテライトのデータは、最短日単位でポータルと同期して最新状態に保つことができます。一方、手動による同期では、年に 1 回以上ファイルを転送する必要がありますが、これが高いセキュリティを求めるサービス プロバイダーおよびパートナーにとってのエアギャップとなります。図 1 は、Smart Software Manager サテライトの導入要件を示しています。サテライト Enhanced Edition は管理するアカウントの数が多くが見込まれるため、手動同期がサポートされていますが推奨されていません。

Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition は CentOS 7 とともに ISO パッケージ化されており、次の要件が必要です。

最小	推奨
200 GB のハード ディスク	200 GB のハード ディスク
8 GB のメモリ	8 GB のメモリ
2 X vCPU	4 X vCPU

図 1. Smart Software Manager サテライト(Enhanced Edition)の導入要件

サテライト Enhanced Edition をインストールしたら、ユーザ インターフェイスにログインするための設定が必要です。さらに、お客様に対応する各サテライト アカウントを Cisco Smart Software Manager に登録して、そこでライセンスを管理できるようにする必要があります。Cisco Smart Software Manager との定期的な同期により、Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition は、最新のライセンスの使用権と使用状況を反映することができます。Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition は、Chrome 32.0 以降のバージョン、Firefox 25.0 以降のバージョン、および Safari 6.0.5 以降のバージョンでサポートされています。

スマートライセンスでは、製品を[スマートアカウント](#)に関連付ける必要があります。これは [Cisco Software Central](#) で作成できます。スマートアカウントは固有の企業 ID に関連付けられており、その顧客向けのシスコのエンタイトルメントとデバイスを保持する、オンラインバンキングのアカウントのようなものです。Cisco Smart Software Manager からは、企業のさまざまな下位区分または購買センターを表すサブアカウント(**仮想アカウント**とも呼ぶ)を作成できます。

利点

- 高度なセキュリティと高可用性を備えた、オンプレミスの、ライセンス使用状況の信頼できる唯一の情報源(single source of truth)
- Smart Software Manager インストール ベースの同期スケジュールに基づいた、ほぼリアルタイムでのライセンスのエンタイトルメント
- 1 つのポータルでの複数のお客様の管理

スマート ライセンスの利点:

- ライセンスはデバイスに対してノードロックされるのではなく、互換性のあるデバイスであれば、製品アクティベーション キー (PAK) をリホストすることなくライセンスを使用可能
- ライセンスは企業内でプールできるため、組織の境界を越えて再利用可能
- 保有するライセンスではなく、使用されているライセンスを把握できることでコスト削減が可能
- サポート ケースを開かなくても会社全体でライセンスを転送できるため、時間の節約が可能。そのため、機器交換 (RMA) プロセスの簡素化が実現

機能

- **マルチテナント:** 単一管理ポータルで複数の顧客アカウントを管理します。
- 複数のサテライトが Smart Software Manager に接続でき、各サテライト アカウントは**最大 10,000 の製品インスタンスのサポートまで拡張**できます。
- **ISO パッケージ:** サテライトは、次のようなさまざまなイメージ タイプとしてエクスポートできるユニバーサル ISO としてパッケージ化されます。イメージ タイプの変換を行うのはお客様の責任です。
 - **OVA イメージ。** Open Virtualization Archive。圧縮された「インストール可能な」バージョンの仮想マシンを含みます。
 - **Hyper-V イメージ。** お客様が Microsoft Windows Server 2012 の Hyper-V 仮想化ホストにインストールできます。
 - **KVM (Kernel-based Virtual Machine) イメージ。** お客様が Ubuntu および CentOS をサポートする仮想 Linux 環境にインストールできます。
- **セキュリティ機能の拡張**
 - CentOS 7 セキュリティを強化したカーネル
 - Nessus スキャンによるクリティカル、メジャー (CVE) の問題対処
- **ユーザ認証制御 (LDAP & OAuth2):** システム管理者は認証方式を LDAP および OAuth2 に設定できます。指定されていない場合、ローカル認証が使用されます。
- **設定可能なバナーおよびログイン時情報:** サテライト ポータルのヘッダーとフッターおよびユーザ ログイン ページは設定可能なため、効果的に情報の分類のカスタマイズができます。
- **アカウント管理およびライセンス管理:** アカウント管理とライセンス管理を Cisco SSM およびスマート アカウント管理と同じ外観を使用し単一のポータルで操作できます。
- **複数のネットワーク インターフェイス:** 2 つのインターフェイスを設定して、管理用のトラフィックと製品インスタンス登録用のトラフィックを分離できます。
- **syslog サポート:** アカウント イベントが syslog サーバに送信されるように設定できます。
- **サテライト プロキシ サポート:** サテライトと Cisco Smart Software Manager の間のプロキシを設置して、トラフィックを分離できるようにします。
- **アプリケーション冗長構成のサポート:** アプリケーション冗長構成に対応し、アクティブ/アクティブおよびアクティブ/スタンバイ、またはフェールオーバーの場合にライセンスを二重にカウントしません。
- **輸出管理サポート:** 米国輸出制限が適用される EULF/ENC 外のお客様が、特定の輸出管理対象ライセンスおよび関連の数量をリクエストするのを許可します。
- **API ツールキット:** アプリケーションからサテライト API をコールして、バーチャル アカウント、トークン、ライセンス、製品インスタンス、レポート、アラートを操作することができます。

- **ユーザ グループ:** ユーザをグループ化し、ロール割り当てなどの操作を個別のユーザに適用するのではなく、グループ内の複数のユーザに同時に適用できるようにします。
- **LDAP グループ:** LDAP ユーザをグループ化し、ロール割り当てなどの操作を、グループ内の複数の LDAP ユーザに同時に適用できるようにします。
- **カスタム バーチャル アカウント タギング:** ローカルのバーチャル アカウントにタグを付与し、バーチャル アカウントの分類、グループ化、検索、ロール割り当てを簡単にできるようにします。
- **ライセンスのタギング:** ユーザ定義タグを作成してライセンスに付与できるようにします。ライセンスの分類、検索、グループ化に有効です。
- **バーチャル アカウント検索:** ローカルのバーチャル アカウントを名前またはタグで検索できます。
- **高度なライセンス検索:** SKU、製品ファミリ、有効期限、PAK(スマートに変換されているクラシック ライセンスの PAK 数)などの詳細情報に基づいてライセンスを検索できます。
- **一括操作:** ローカルのバーチャル アカウント間で複数のライセンスを一括して転送できます。

サテライト Enhanced Edition には、次のようなシステムを管理する機能を提供する管理ポータルもあります。

- **ユーザ:** sysadmin、sysops、またはユーザ ロールを使用してシステム ユーザを作成するなど、ユーザの管理を行います。
- **アカウント:** サテライト アカウントのリクエストを承認したり、新しいサテライト アカウントを作成したりします。
- **ネットワーク:** ネットワーク IP、NTP、DNS サーバ、デフォルト ゲートウェイ アドレス、サテライト プロキシ パラメータ、syslog 設定を構成または変更します。
- **API ツールキット:** サテライト API にアクセスするためのクライアント認証およびリソース認証クレデンシャルを作成できるようにします。
- **アクセス管理:** 認証方式および LDAP グループを設定します。
- **設定:** バナー テキスト、メッセージ、および syslog のパラメータを設定します。
- **ソフトウェア ダウンロード:** ユーザに、サテライトから直接アクセスする権限を持っているソフトウェアをダウンロードできるようにします。
- **同期:** Cisco SSM と同期します。

お客様は [Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition](#) を無料でダウンロードして、資産とライセンスを社内ローカルに管理できます。詳細については、『[Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition インストレーションガイド](#)』および『[Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition ユーザ ガイド](#)』を参照してください。

関連情報

スマート ライセンスについては、www.cisco.com/c/en/us/products/abt_sw.html を参照してください。

Smart Software Manager については、www.cisco.com/web/ordering/smart-software-manager/index.html を参照してください。

スマート アカウントについては、www.cisco.com/web/ordering/smart-software-manager/smart-accounts.html を参照してください。

Cisco Software Central については、<https://software.cisco.com/swcentral/home.html> を参照してください。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。
本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。
「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)
この資料の記載内容は 2018 年 12 月現在のものです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先